

令和3年度 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業成果報告

白河市では、内閣府の標記交付金を活用し、就職氷河期世代のひきこもり状態にある方への相談支援や情報発信、居場所づくり等の事業を実施したので、その成果を報告します。

1. 交付対象事業の名称

就職氷河期世代ひきこもり対策推進事業

2. 交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) 実績

	指標名	令和3年度目標値	令和3年度実績
KPI①	就職氷河期世代のひきこもりに関する新規相談件数 (当事者、家族、支援者等から受ける相談の合計)	10	10
	目標値と実績に乖離がある理由		
	指標名	令和3年度目標値	令和3年度実績
KPI②	就職氷河期世代のひきこもりに関する延べ相談件数 (当事者、家族、支援者等から受ける相談の合計)	90	97
	目標値と実績に乖離がある理由		
	指標名	令和3年度目標値	令和3年度実績
KPI③	就職氷河期世代のひきこもり当事者の相談が関係機関 による対応につながった人数 (福祉事務所、自立相談支援機関、民間事業者等)	7	1
	目標値と実績に乖離がある理由	気軽に相談できるSNSやオープンチャットが中心であったため、相談内容として、具体性のないものが多かった。	

3. 本事業による就業者数及び社会参加者数

就業者数	0	うち		社会参加者数 (就学、就労準備 訓練等)	7
		就業者数	うち正規 うち非正規		
		うち、その他就業(自営、起業、内職等)			

4. 事業の実施状況及びその成果

<p>事業の実施状況とその成果について、できるだけ具体的な成果指標やデータを用いて記載してください。</p> <p>市が委託する「白河市ひきこもり相談支援センターTUNAG(つなぐ)」(令和2年9月開所)と連携し、窓口や電話、訪問による相談支援に加え、SNSの匿名性、即時性の特徴を活かしたオンラインによる相談支援を実施するとともに、オンライン居場所づくりとしてオープンチャットを開設した。</p> <p>また、当事業のPRのためのチラシを市内全戸(約2万世帯)に配布した。</p> <p>参加しやすさもあり、相談件数はKPIを達成したものの、その後の具体的な支援にどう繋げていくかが課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口、電話での相談件数 37件 ・訪問による相談件数 10件 ・SNS、メールによる相談件数 28件 ・オープンチャット参加件数 16件 ・その他 6件

当成果につきましては、令和4年7月26日に開催された令和4年度福島県青少年支援協議会県南地域連絡協議会及び令和4年9月27日に開催された令和4年度就職氷河期世代活躍支援白河地域プラットフォームにおいて、有識者を含めた参加者に報告し検証を行いました。